

# 7月消費支出5.0%減

## 物価高背景 5カ月連続マイナス

総務省が5日発表した7月の家計調査によると、1世帯（2人以上）当たりの消費支出は28万1736円と、物価変動の影響を除いた実質で前年同月比5.0%減少しました。マイナスは5カ月連続。物価高を背景に節約志向が強まっており、減少幅は2021年2月（6.5%減）以来の大きさとなりました。

内訳は、食料が魚介類や肉類などを中心に2.8%減少。教育は19.8%の大幅減となりました。巣ごもり需要の反動で、住居も18.6%減りました。

また、新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが

「5類」に移行し、マスクの需要が減ったことを背景に、保健医療も7.5%減しました。

一方、外出関連消費は拡大。外食が8.5%増加したほか、夏休みに入ったことで国内パック旅行費は22.6%増、宿泊料は10.6%増となりました。

総務省の担当者は、「物価高の影響が徐々に出てい」と指摘しました。